

啓明学園初等学校

【理事長】内藤 洋介

【校長】操木 豊

〒196-0002 東京都昭島市拝島町5-11-15 TEL.042-541-1003 <http://www.keimei.ac.jp/primary/> 【交通】京王線京王八王子駅よりスクールバス20分、JR中央線八王子駅よりスクールバス30分、JR青梅線・八高線・五日市線・西武拝島線拝島駅よりスクールバス6分、JR中央線立川駅よりバス25分

啓明学園の四つの標語

正直・純潔・無私・敬愛

創立者三井高維先生が、学園創立にあたり人格形成の基盤としてこの標語を採用しました。初等学校では、毎日の始まりに礼拝で四つの標語を唱えています。

豊かな人間性と独自の見識を持ち、
世界を心に入れた人を育てる

学園の教育方針

- (1) キリストの教えから人間としての生き方、在り方を学ぶ。
- (2) 民族・人種の違いを越え、互いの人権と、一人ひとりの特性を尊重する。
- (3) 体験を通し、創造性を豊かにする。
- (4) 世界市民としての品性を身につける。

初等学校教育目標～一人一人が輝き、共に生きる力をはぐくむ～

基礎的・基本的な知識・技能の習得を基盤とした思考力・判断力・表現力等の育成、学習意欲の向上や学習習慣の確立、豊かな心や健やかな体の育成をし、「生きる力」をはぐくみます。豊かな心の育成のため、他者、社会、自然、環境との関わりの中で、これらと共に生きる自分への自信をもたせることを重視します。

世界につながる啓明の生活

1940年、啓明学園は、帰国生のための教育の場としてスタートしました。今も、初等学校のおよそ4人に1人は海外生活の経験を持つ子どもたちです。肌の色や髪の色が違っていても、日本語がうまく話せなくても、啓明学園では「普通の仲間」です。英語は、授業の中だけでなく、生活の中で耳にする言葉になっています。啓明の子どもたちは、世界中から編入してくる新しい友だちを自然に受け入れながら、相手の気持ちを理解し、違いを認めあえる子になっていきます。

「しなやかに共に生きる力」を育てる

五感のすべてを使って本物を体験し、事実にもとづいて考えることによって「生きた知識」を獲得していきます。恵まれた自然環境が生活を豊かにし、たくさんのユニークな教育活動を可能にしています。キャンパス内の農園や、学校のそばを流れる多摩川も、大切な学習の場です。力をおしまない保護者、協力的な地域の方々、国内国外からのお客様など、たくさんの人々の力が、大きな支えになっています。

上級学校に進むには

初等学校長の推薦を受けて、希望者は啓明学園中学校に進学できます。

自らの創造性で人生を開拓できる人に

理事長 内藤 洋介、学園長 北原 都美子

「正直」「純潔」「無私」「敬愛」。啓明学園が掲げるこの標語はいつの時代も変わらない、人間の力強い生き方を示しています。創立以来70年余年、社会がどのように変化しても啓明学園は一貫して、しっかりと生きていく力を育てることを目指してきました。

世界のさまざまな文化の中で成長してきた帰国生がいる環境は、ものごとを広い視野の中で多様なアングルから捉え、皮相な先入観や偏見にとらわれずに考えることを可能にしてくれます。啓明学園の教育の中で問題に立ち向かう思考力やコミュニケーションの力を身につけた卒業生たちは、今や世界中で人々のために活躍しています。



沿革

1940年、海外での子弟教育の不便を痛感していた三井高維氏が、帰国生教育のために港区赤坂台町の私邸において小学校を創設。翌年、中学部・高等女学部の設置が認可。戦後、学園全体が拝島に移された。1972年、海外勤務者子女教育研究協力校の指定を受ける。

2016年度募集要項

募集人員：第1回 男女約50人
第2回 若干名

出願期間：

第1回・2回 10月1日(木)～10月17日(土)

第2回 11月2日(月)～11月5日(木)

※日・祝を除く

考査料：25,000円

考査内容：個人作業、グループ活動、面接

考査日：第1回 11月2日(月)

第2回 11月7日(土)

合格発表：第1回 11月3日(火・祝)

第2回 11月7日(土)

【かかる費用(2015年度参考)】

入学金：260,000円

授業料：456,000円

施設費：80,000円

教育充実費：78,000円

冷暖房費：15,000円

児童会費：6,000円

親の会費：18,000円

初年度納入金合計：653,000円(入学金を除く)

併設中学進学状況

◆啓明学園中学校

※全体の80～90%が進学

データパック

◆児童数174人/教員数27人

【併設校】

○啓明学園幼稚園・中学校・高等学校